

行人岳不動明王廟運営委員会が寄付

町道行人岳線開通日を節目に

12月27日、行人岳不動明王廟運営委員会（阿多靖直委員長）から川添町長へ、寄付金を手渡されました。

昨年12月26日に、町道行人岳線が開通しました。今回は、この開通日を記念して同委員会から寄付金の贈呈となりました。

阿多委員長は「町道行人岳線が開通してから、行人岳への参拝者は確実に増加した。委員会としても、整備してもらった町に何らかの応援ができないか考えた。今回の寄付金は、ブリ奨学金や町の景観整備など地域のために活用してほしい。委員会としても毎年続けていきたい」と話していました。



↑川添町長へ寄付金を手渡す阿多委員長と末松直喜委員

蔵之元小学校で「人権の花運動」閉会式

人権の輪を広げよう

12月6日、蔵之元小学校（山田哲夫校長）で、人権の花運動が閉会式を迎えました。

この運動は、人権の花のヒマワリを育てることで、日常的に命の大切さを学び、相手への思いやりを育てることを目的としています。4月に閉会式を行った同校では、ヒマワリの種まきや水かけ、草取りなど栽培活動を続けてきました。

川添町長や地域の人権擁護委員らが出席した式では、各学年を代表して児童らが人権標語と、人権作文を発表。6年生の小畑麗梨さんは「1年生のとき、人と話したりするのが苦手だった私に、人と話したり遊んだりする勇気をくれた友達を大切にしたい」と発表しました。



↑人権標語を発表する児童

島原・天草・長島架橋構想及び九州西岸軸構想推進地方大会

夢の架橋実現に向けて

「島原・天草・長島架橋構想及び九州西岸軸構想推進地方大会」が12月16日、高尾野農村環境改善センターで開催され、長崎・熊本・鹿児島3県の住民や経済界、行政関係者ら約500人が参加しました。

はじめに、毎年募集している同構想絵画コンテストの表彰式が行われ、鹿児島県の部で最優秀賞となった島田陽斗さん（獅子島小2年）と山上愛叶さん（鷹巣中2年）に、壇上で三反園訓鹿児島県知事から賞状が手渡されました。

大会では、三県架橋の可能性についての講演や、地元代表者による意見発表が行われたあと、川添町長が大会決議案を読み上げ、参加者から多くの拍手を受け、大会決議案が採択されました。



↑大会決議案を読み上げる川添町長